

当会会員の（株）ダイナックス（千歳市）が、
平成30年3月22日(木)付の、日刊工業新聞に紹介されました。

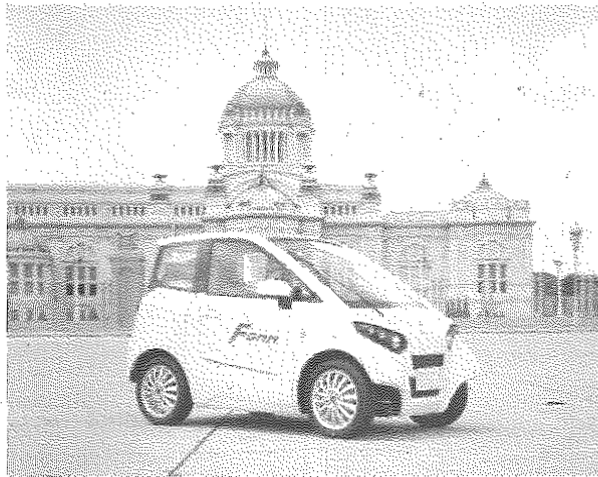
ダイナックス、EVに出資

インホイールモーター開発加速

【札幌】ダイナックス（北海道千歳市、秋田幸治社長、0123・24・3247）は、電気自動車（EV）向けインホイールモーターの実用化に向けた開発を本格化させる。EV開発ベンチャーのFOMM（フォーム、川崎市幸区）に10億円を出資した。将来のEV開発への協力を見据えて連携し、2020年頃に商品化を目指す考えだ。

20年めどフォームと商品化

ダイナックスは、フナ取り組みは今後詰めオムが実施した第三者るが、生産では親会社割当増資の一部を引きのエクセディやダイナ受け、出資した。フォームックスの海外拠点などムは独自の小型EVのの活用も視野に入れ開発を進めており、ダる。顧客のニーズも見イナックスは採用され極めながら、拠点の設るインホイールモータ備投資を含めた事業展下を開発する。具体的開も検討していく。世



フォームが開発している小型EV

世界的なEVへの事業環
境の変化にも対応して
いく構え。
インホイールモータ
ーは、これまで北海道
大学などと連携しなが
ら、先行開発として取
り組んできた。ダイナ
ックスの秋田社長は
「クラッチ板の需要は

伸びているが、何十年
先か将来を考えると、
EV商品がないといけ
ない。今回の出資を足
がかりにEV商品を勉
強しながら、世の中
に出していくことを考
えたい」としている。

ダイナックスは、自
動変速機（AT）用クラ
ッチ板を主力とし国内
外に年間約5億枚を出
荷している。18年3月
期の連結売上高では約
630億円を見込む。